

2020年11月10日
テオリア第98号

定価 350円
毎月10日発行
定期購読料 年間 4000円
半年 2000円

郵便振替口座 00180-5-567296研究所テオリア

θεωρία テオリア

発行 研究所テオリア
東京都北区田端1-23-11-201
☎&📠 03-6273-7233
ホームページ
http://theoria.info
E-mail: email@theoria.info

第9回シンポジウム

「コロナ時代」を生き抜くために



講演する瀬戸大作さん

第9回シンポジウム 開催

10月17日、研究所テオリア第9回シンポジウム「コロナ時代」を生き抜くために」を開催した。

シンポジウムでは五箇公一さん(国立環境研究所)がオンライン講演「新型コロナ」から学ぶことーグローバルからローカルへ(2~5面に掲載)。

瀬戸大作さん(反貧困ネットワーク)が講演「コロナ災害」に立ち向かうー緊急支援の現場から(6~8面に掲載)。続いて、質疑応答が行われた。

17日午前には第9回総会が開かれ、運営委員会から前年度事業報告、新年度事業計画、決算、予算、運営委員の提案が行われ、いずれも承認された。

座標塾第16期

第5回 ポスト資本主義の構想(2)ーオルタナティブは11月20日(金) 18時半
白川真澄(ヒューズ・プラン研究所)
会場 文京シビックセンター3階会議室AB
参加費 1000円(会員4000円)
会場受講申込11月19日迄
Zoom申込11月16日迄
申込先 03-6273-7233
email@theoria.info

国連・憲法問題研究会講演会

先制攻撃する自衛隊へー敵基地攻撃能力
清水雅彦(日本体育大学教授、憲法学)
11月7日(土)午後6時半
文京シビックセンター3階会議室AB
参加費 1000円 要申込 研究所テオリア
☎・📠 03-6273-7233 email@theoria.info

紙面紹介

五箇公一「新型コロナ」から学ぶこと 2~5面
ーグローバルからローカルへ…………… 2~5面
瀬戸大作「コロナ災害」に立ち向かう 6~8面
ー緊急支援の現場から…………… 6~8面
学術会議/辺野古/映評…………… 8面

2020年11月13日 ついに刊行!

語り継ぐ1969 糟谷孝幸追悼50年ーその生と死

1969糟谷孝幸50周年プロジェクト編
2000円+税(A5版・488頁)
社会評論社

糟谷とともに生きた半世紀/糟谷孝幸さんへの手紙/糟谷君の思い出
1969年とは何であったのか 海老坂武
1969年から半世紀、この先へ/同じ時代を駆けぬけて/糟谷孝幸とともにたたかっていた日々/私にとっての糟谷孝幸さん/糟谷君虐殺の真相を究明する 告発付審判および11・13闘争公判/資料編
【お申し込み・お問い合わせ先】

1969糟谷孝幸50周年プロジェクト事務局
〒700-0971 岡山市北区野田5-8-11ほっと企画気付
電話086-242-5220(090-9410-6488山田雅美)
FAX086-244-7724 E-mail:n-yamada@po1.oninet.ne.jp

シンポジウム「コロナ時代」を生き抜くために

「新型コロナ」から学ぶこと——グローバルからローカルへ

五箇公一 国立環境研究所

背景には環境問題

今日はオンラインで講演させていただきます。新型コロナの背景には環境問題があるということ、私たちはこれからどういった形で社会を創っていったらいいのかということについてお話しします。感染が拡大した4月。私は動画「自然からの警告」を配信。再生回数は13万となりました。ただ、私をご存じの方の多くはテレビのバラエティ番組レギュラー出演の「タニ組」博士としてだと思います。私の本職は国立環境研究所の研究職。国立環境研究所は環境省直轄の研究機関として地球温暖化、生物多様性、PM2.5など環境問題の研究をしています。私自身は生物多様性のプロジェクトに関わっています。

生物多様性は非常に重要な環境キーワードになっている。なぜ生物多様性が環境問題になっているのか。生物多様性は、遺伝子・種・生態系・景観というミクロからマクロの複雑な階

層性を持つ概念。一般的に解りやすい生物多様性は種の多様性。これは目で見てわかる。地球上に多様な生物が生息している。生物多様性とはそこにあるのではない。遺伝子の多様性は一つの種の中から始まる。いろいろな遺伝子があることで、いろいろな種が進化して、種の多様性が生み出される。

種が集まることで、生態系がつくり出され、これにも多様性がある。森には森の生き物が集まって、森の生態系。川には川の生き物が集まって、川の生態系がつくられる。地球上には地形、気候など様々な環境の違いがある。環境の違いに根差して独自の生態系が進化することで独特の景観が生み出される。景観の多様性がつくり出される。このように生物多様性というのは遺伝子というミクロなレベルから、景観というランドスケールに至るまで生物が織りなす多様な世界が生態系。だから、難しい複雑な概念。様々なレベルでの多様性を保全していかなければならない。

では、遺伝子の多様性がなぜ重要か。犬を見ても、一つの種の中に様々な遺伝子のバリエーションがある。そして、人間という動物の中にも遺伝子の多様性があり、この地球上にはいろいろな姿かたちをした人たちが生きている。それだけいろいろな遺伝子が人間という生き物の中に備わっている。いろいろな動物が生物多様性を維持して進化してきている。

一方、遺伝子に多様性のある集団の方は、天敵に食べられにくい系統といえる。一方、遺伝子に多様性がない集団の方は一旦食べられてしまうと、味をしめられて食べつくされてしまう。絶滅リスクが一気に高くなる。

もし、人間に遺伝子の多様性がなければ何が起るかというところ、みんな同じ顔と性格になっていく。つまらない世界になる。例えば、みんながみんな可愛い女の子、きれいな女の子だけだったら、正しい社会になるかというところ、逆を言うと、この地球上の環境は常に時間的にも空間的にも変動していき、そういう中で同じ遺伝子でいるというのは非常にリスクが高い。結果論として種の多様性というものは維持されている事になる。遺伝子の多様性は

生物多様性の持つ重要性

それだけ遺伝子の多様性は生物が生きていく上で重要な意味を持つ。2つの蝶の集団を想定します。どちらも同じ集団で

すが、片方は遺伝子に多様性がある、羽の色・模様が多様。もう一つの集団は遺伝子の多様性がゼロですべてが同じ遺伝子で、羽の



重要な意味をもつ。ダイバーシティな社会でなくてはいけないという事がよく分かる。次に種の多様性。種のバリエーションがあることの意味、重要性について、こちらでも2つの生態系を想定します。1つは種の多様性が高く、いろいろな種が食べる食べられる関係が複雑なネットワークで結びついている生態系。もう一つの生態系は種の多様性が非常に低く、食べる食べられる関係が少ない生態系。

ここで環境変化が起こると、カエルの病気が大流行してカエルが減ってしまうとします。そうすると種の多様性が高いほうの生態系では、カエルがいなくなっても他のネットワークを通じて食べる食べられる

がなければ環境の変化についていけなくなってしまう。集団が減ってしまう確率が高くなる。こうした遺伝子の多様さは人間社会においても非常に重要な意味を持ちます。

もし、人間に遺伝子の多様性がなければ何が起るかというところ、みんな同じ顔と性格になっていく。つまらない世界になる。例えば、みんながみんな可愛い女の子、きれいな女の子だけだったら、正しい社会になるかというところ、逆を言うと、この地球上の環境は常に時間的にも空間的にも変動していき、そういう中で同じ遺伝子でいるというのは非常にリスクが高い。結果論として種の多様性というものは維持されている事になる。遺伝子の多様性は

生物多様性を支えるローカルティ

次に生態系の多様性。この地球上にいろいろな生態系が展開することで、それぞれ独自の機能を持った生態系が展開する。それぞれの機能が合わさることで、この地球上に安定した生物圏という空間が維持される。

美しい水をつくる生態系、あるいは美しい空気をつくる生態系、あるいは食べ物やエネルギーを供給してくれる生態系、そういったいろいろな機能といったものが合わさることで、この地球上には隅から隅まで生

き物が生きていける生物圏という空間が維持されている。そういう空間が維持されている。人間も生かされている。私たち人間も動物ですから、水も空気も食べ物も必要であり、そういった人間の生活の必須基盤、生命の必須基盤というものは、すべて生態系の機能、サービスが供給されている。そういった生態系を支えているものが生物多様性。一点目は人間がこの地球上で生きていけるのは生物多様性が

あればこそという事がわかります。さらにこの生物多様性は人間社会の多様性に携わっています。皆さんが海外旅行に行くと楽しいと思えるのはなぜか。それは日本にはない独特の景観や生態系、環境が、その地域に展開している。そういった環境に根ざしている。要するに日本にない異質性。そういったものを発見して楽しむ。触ったものを見て楽しい、触ったものを感じて楽しい。楽しいという印象を与えてくれる。この地球上にいろいろな人間社会の多様性というものが育まれている。その背景にも生物多様性というの非常に深く関わっていることが分かります。

も生物多様性が関わっています。というところは、人間社会というものは生物多様性が無ければ維持できない。だから、生物多様性を大事にすることは単純にかわいい動物を守る、きれいな小動物を保護するといったような、単なる愛護の精神にとどまるものではありません。これは人間として、この地球上に生きる以上、生き物が好きか嫌いか、その生き物が美しいか醜いかも関係なく、我々にはありとあらゆる生物と共生していく必要がある。その意義は、安心で安全で豊かな人間社会を維持して発展させていくために必要であるということでもあります。

つまり動物や植物を守るために生物たちを保全するためには、人間社会を守るために生物多様性は守るということになります。なので、生物多様性を保全することはエコでもなんでもなく、本当は私たち人間が生きていくためのエコイステックな活動だと理解した方が早い。そして、この生物多様性を支える重要な環境要因は地域固有性です。すなわち地域ごとに異なる環境があることで地域独自の遺伝子、種、生態系、景観といったものが進化し、そういった環境の育成によって文化の多様性も育まれてくる。言ってみれば地域性、ローカルティが生物多様性を支える重要な環境要素となります。

したがって生物多様性の重要性は、我々人間という生き物が生きていく上での生態系サービスはなくてはならないもの。その生態系サービスを支えているのは生物多様性。生物多様性があるからこそ、我々人間は生きていける。さらに、人間社会の多様性、文化の豊かさといったものの背景に

我々が住んでいる日本も、日本列島という独自の生態系と景観を持つことで、日本独自の社会や文化と続いてきました。そうした日本の独自といったものが、世界にはない類まれな価値が国際的に高く評価されて、インバウンドの経済効果をもたらしてきたわけです。

したがって生物多様性の重要性は、我々人間という生き物が生きていく上での生態系サービスはなくてはならないもの。その生態系サービスを支えているのは生物多様性。生物多様性があるからこそ、我々人間は生きていける。さらに、人間社会の多様性、文化の豊かさといったものの背景に

生物多様性が関わっています。というところは、人間社会というものは生物多様性が無ければ維持できない。だから、生物多様性を大事にすることは単純にかわいい動物を守る、きれいな小動物を保護するといったような、単なる愛護の精神にとどまるものではありません。これは人間として、この地球上に生きる以上、生き物が好きか嫌いか、その生き物が美しいか醜いかも関係なく、我々にはありとあらゆる生物と共生していく必要がある。その意義は、安心で安全で豊かな人間社会を維持して発展させていくために必要であるということでもあります。

したがって生物多様性の重要性は、我々人間という生き物が生きていく上での生態系サービスはなくてはならないもの。その生態系サービスを支えているのは生物多様性。生物多様性があるからこそ、我々人間は生きていける。さらに、人間社会の多様性、文化の豊かさといったものの背景に

人間活動による多様性劣化

いまこの生物多様性は急速に劣化しているというところが、地球環境問題になっている。2014年度から世界中の研究者たちが集まって、生物多様性の現況を評価し、今後の対策について議論する国際会議IPBESが開催されてきました。昨年5月に最新レポートを提出した。

世界にいる種の75%がすでに人間活動によって大幅に壊滅されており、現時点で100万種の動物植物が絶滅に危機があると。その絶滅速度は、過去1000万年間の平均値に比べ10倍から100倍も高い。言ってみれば、現在は史上最悪の事態を迎えている。このまま放置すれば地球上の生物多様性がほとんど劣化して、生態系機能もマヒしてしまい、最終的に人間社会の持続は難しくなるであろうと研究者たちは警鐘を鳴らしている。

そして、この生物多様性を劣化させている要因は、私たち人間の活動。森林を破壊する。海洋汚染するなどの生息地の破壊。乱獲。さまざまな化学物質による汚染。外来種の持ち込み。そして、気候危機。こういった人間活動によって環境が急速に改変されることで、生き物たちは進化が追い付かなくなり、どんどん滅んでしまう。

これが現在の生物多様性

我々の生活自身が実は熱帯雨林の破壊に加担しているという事を知っておかなくてはならない。

次に生物多様性を脅かす深刻な要因としては乱獲が挙げられます。これは生き物を資源として大量に捕獲することで絶滅させてしまっている。かつては象牙やベッコウといった装飾品目的でアフリカゾウやタイマイ(ウミガメ)が大量に捕獲され、絶滅の危機に瀕した。装飾品売買には日本人も深く関わっており、ジャパンマネーを使っているといったものを大量に買いつけてきた黒歴史を我々は持っています。

近年、大きな問題になっているのは水産資源。食料となる水産物が大量に捕獲され、数が急速に減っている。モロッコのタコには日本人が深く関わっている。

しかし、そのボルソナロ大統領は国際会議での発言で「このジャンルは我々がブラジル国民の持ち物であり、我々がどう使おうが勝手である。しかも、我々が森を焼いて作った生産物を、北の摂取国が消費しているんであって、お前らが偉そうに言うな」と言い返してきた。これは、ある意味正論。実際に我々日本もブラジルから輸出される農産物に大きく依存して生きている現状がある。言ってみれば、こういった熱帯雨林の破壊に先進国の豊かな生活が繋がっている。このことを考えると、日本人も決して他人ごとではなく

ここ日本で一番タコを食っているのはどこか。県民当たりのタコ焼き店舗数を計算すると、やはり大阪がダントツ1位。決して大阪府民を責めているわけではなく、これも立派な地域固有性。ただ私たちが食べているタコが、知らない間に海外のタコが大部分を占めていて、世界のタコはほとんど数を減らしていることは知られていない事実。

最近問題になっている水産物減少は、ニホンウナギ土用のウナギの日でも手が出ないほど、値が上がった。なぜかと言えば、ニホンウナギ自体が13年2月に絶滅危惧種に指定され、ほとんど獲れない状態になっている。これ以上食べってしまうと本当に絶滅してしまうかもしれない。最大の理由は、やはり乱獲。食べ過ぎてしまったことが大きな要因。

最近問題になっている生物多様性の問題は外来種生物の問題。これは人間活動によって本来住んでいるところから違う土地に持ってこられた生き物たち。まさにグローバル化の現代においては世界全体にこの外来種がどんどん増えていることは大きな問題になっている。日本においても、身近な自然のほとんどが外来種に占められる状況になっている。

日本で最近話題になった外来種がヒアリ。非常に強

最近分かったのは、ウナギはマリアナ海溝という太平洋にある深い海溝で卵から孵化し、海を渡って日本の川を遡上することで成長するという非常に独特の生活史を持っている。日本の河川自体の環境が悪くなっている。その結果ウナギの生活史が分断されてしまっている。その数を減らす要因の一つとなっている。こういった状況のなかで、これだけ数を減らしている魚であるならば、大事に保護しながら増やしていかなければならない。数が減っているなら今のうち食べなければ、一層薄利多売に拍車がかかり乱獲が促進され、ここまでできてしまった。我々のウナギに対する食生活が実はウナギを減らしている大きな要因ということも、知っておかなければならない。

最近問題になっている生物多様性の問題は外来種生物の問題。これは人間活動によって本来住んでいるところから違う土地に持ってこられた生き物たち。まさにグローバル化の現代においては世界全体にこの外来種がどんどん増えていることは大きな問題になっている。日本においても、身近な自然のほとんどが外来種に占められる状況になっている。

日本で最近話題になった外来種がヒアリ。非常に強

最近問題になっている生物多様性の問題は外来種生物の問題。これは人間活動によって本来住んでいるところから違う土地に持ってこられた生き物たち。まさにグローバル化の現代においては世界全体にこの外来種がどんどん増えていることは大きな問題になっている。日本においても、身近な自然のほとんどが外来種に占められる状況になっている。

日本で最近話題になった外来種がヒアリ。非常に強

グローバル化と外来種生物

最近問題になっている生物多様性の問題は外来種生物の問題。これは人間活動によって本来住んでいるところから違う土地に持ってこられた生き物たち。まさにグローバル化の現代においては世界全体にこの外来種がどんどん増えていることは大きな問題になっている。日本においても、身近な自然のほとんどが外来種に占められる状況になっている。

日本で最近話題になった外来種がヒアリ。非常に強

感染症の生態学

事例の一つはカエルツボカビ。これは両生類にだけ感染する新興感染症。世界中の両生類でこの新興感染症がパンデミックを起こしている。カエルツボカビ菌という真菌が両生類に感染して病気を発症させる。90年代以降、世界各地で急速に広がり、ジャングル奥地で貴重な両生類がバタバタと集団死し、生物多様性から大きな問題になっている。

カエルツボカビ菌は、日本でも2006年、輸入カエルから発見された。日本にもどうとう上陸した。日本は両生類がピンチだと思はれる大きなニュースになった。

そこで国立環境研究所と各地に様々な系統が存在している。

それをまとめて、多様性が高いカエルツボカビ菌の遺伝子系統樹が作られました。そして、日本にはどれくらいどの系統が進入しているのか調べていった。

驚いたことに、日本にはいろんなカエルツボカビ菌の系統が存在している。日本ほどカエルツボカビ菌が多様なところはない。

最初は多様なカエルツボカビ菌が侵入していると考えた。ところが、系統解析してみると意外な事実が分かった。

系統樹の一番根っこにある一番古い系統はオオサンショウウオという日本の固有の両生類にしかついていないことが判った。しかも、オオサンショウウオは感染していても全然病気になる。オオサンショウウオとカエルツボカビ菌の共棲の歴史は長いのではないかと、上野科学博物館に依頼して、1902年という古い標本を借りて調べた。

そこからもカエルツボカビ菌が見つかった。カエルツボカビ菌は世界で、パンデミックするはるか昔から日本に存在していたと判った。さらに世界に広がっている系統は全て沖縄に生息する沖縄固有のシリケンイモリに寄生していることが判った。

つまり、オオサンショウウオとシリケンイモリという日本固有の生き物が元々カエルツボカビ菌の持ち主だった。

そこで実際に海外の両生類に感染して病気を起こすかの感染実験を行った。南米原産ベルツノカエルと無菌のシリケンイモリを同居させると、ベルツノカエルは病気になるまで成長し、水はきれいのままだった。

ところが、感染している野生のシリケンイモリと一緒に飼育すると感染が起きて、水は脱皮殻で汚れる。

沖繩のシリケンイモリの持つカエルツボカビ菌には病原性があると分かった。

今度、同じ実験を日本のカエルでやってみると、日本のカエルでは何も起きない。一緒に飼育してもかびない。かびないだけでなく、カエルツボカビ菌もきれいになくなってしまふ。日本カエルには除菌効果があるらしいことが分かった。

つまり、日本の両生類は古くからカエルツボカビ菌と付き合っていて抵抗性を身に付けていて病気になることが分かった。

以上の結果から、カエルツボカビ菌の起源は日本と推定された。日本から菌が世界中に分散をして、抵抗性がない世界中の両生類が菌に感染して死んでしまっている。

まさにカエルツボカビ菌は日本発の外来病原体。この菌を運んでいるキャリアは何か。北米原産ウシカエル。これが食用で世界中に運ばれる過程で、日本のカビも一緒に運ばれて世界中に分散しまった。そして、

(3)面から続く

エコツーリズム、野外観察などの形で観光客が土足でジャングルの奥地に入り込んでいく行動で菌が持ち込まれてしまった。

菌が持ち出されることで感染症が起きてくる。ある意味でこれがすべての感染症の原因。

シの進化に合わせて、全て一対一対応をする。漫然と生きていくのではなく、クワカタムシに決まった系統が一緒に進化している。

系を調整する。同時により病気に強い抵抗性へと集団を進化させる役割を果たしている。

この家畜動物にまわりでネットワークでつながってウイルスを供給しているのが野生動物。肉食獣、ネズミ類、コウモリ類などが家畜動物に対してウイルスを供給し、人間に感染する新興感染症としてスピルオーパーしている。

南米、アフリカ、インドなどで感染が拡大。世界全体はまだまだ新型コロナウイルスの支配下にあることを忘れてはいけない。ヨーロッパでは感染収束と見えつつも、規制緩和の結果、再び感染拡大している。コロナ

ナウイルスは増えたり減ったりしながら、世界中に感染を広げている。その中で日本は小康状態に入りつつあると言われるが、今後どのような形で感染が続くか心配されている。

識が必要になってくる。そのためにも科学が勝利する日。ワクチン、治療薬ができて、このリスクがコントロールできるようになるまでは、「withマスク」「withソーシャルディスタンス」をモンスンとして経済を回していくことが心掛ける。

生態系にはルールがあって、上に行くほど使える栄養量は限られてくる。取り分が減るということは数が減る。強いものほど数が少ないというピラミッド構造が維持されているというのがルールだった。

共進化とは何か

共進化とは何か。ここでクワカタムシに登場してもらいます。飼ったことがある人は背中にくわカタムシを見たことある。嫌われていて愛好家にはブラシで落とされる。研究によって、クワカタムシはクワカタを泣かせているのではなく、背中に付くゴミやカビを食べ

のクワカタムシの背中に乗っている。クワカタムシとクワカタを採取して両方のDNA解析を行い、系統解析した。

系統樹を見ると、クワカタムシは多様な枝分かれをした系統進化をしている。系統樹から、小さなクワカタにも多様な系統進化の歴史があることが分かる。遺伝子の多様性が高い。深い進化の歴史を持って枝分かれをしている。そして、クワカタムシの進化と比較すると、このクワカタムシ

知っていたら良かったのは、目に見える美しい生き物だけが生物多様性ではない。クワカタムシのような嫌われていて、クワカタにも多様な歴史がある。クワカタにも愛の手をというクワカタムシとしての願い。私は趣味と実益を兼ねて虫やクワカタをコンピューターグラフィックス(CG)で描いていて、アメリカでは切手になっています。

その起源は何か。おそらく野生動物の体内のウイルスだろうと、世界中の学者が調査に乗り出している。最新のデータによると、DNA解析の結果、コウモリが持つコロナウイルスとセンザンコウが持っているセンザンコウウイルスが合体したキメラウイルスがセンザンコウの中で、新しいヒト型コロナウイルスに進化したのだらうと分かっている。

その中で、私たちが考えるべきこと。その起源は何か。おそろしく野生動物の体内のウイルスだろうと、世界中の学者が調査に乗り出している。最新のデータによると、DNA解析の結果、コウモリが持つコロナウイルスとセンザンコウが持っているセンザンコウウイルスが合体したキメラウイルスがセンザンコウの中で、新しいヒト型コロナウイルスに進化したのだらうと分かっている。

その中で、私たちが考えるべきこと。その起源は何か。おそろしく野生動物の体内のウイルスだろうと、世界中の学者が調査に乗り出している。最新のデータによると、DNA解析の結果、コウモリが持つコロナウイルスとセンザンコウが持っているセンザンコウウイルスが合体したキメラウイルスがセンザンコウの中で、新しいヒト型コロナウイルスに進化したのだらうと分かっている。

その中で、私たちが考えるべきこと。その起源は何か。おそろしく野生動物の体内のウイルスだろうと、世界中の学者が調査に乗り出している。最新のデータによると、DNA解析の結果、コウモリが持つコロナウイルスとセンザンコウが持っているセンザンコウウイルスが合体したキメラウイルスがセンザンコウの中で、新しいヒト型コロナウイルスに進化したのだらうと分かっている。

その中で、私たちが考えるべきこと。その起源は何か。おそろしく野生動物の体内のウイルスだろうと、世界中の学者が調査に乗り出している。最新のデータによると、DNA解析の結果、コウモリが持つコロナウイルスとセンザンコウが持っているセンザンコウウイルスが合体したキメラウイルスがセンザンコウの中で、新しいヒト型コロナウイルスに進化したのだらうと分かっている。

病原体も生態系の一員

クワカタムシはクワカタの背中に乗ると死ぬ。他の昆虫の背中に乗せると死んでしまう。まさにクワカタムシと一心同体に進化している。このクワカタムシの背中から振り落とされたいようにへばりついて生きていくかわい生き物。

クワカタムシはクワカタの背中に乗ると死ぬ。他の昆虫の背中に乗せると死んでしまう。まさにクワカタムシと一心同体に進化している。このクワカタムシの背中から振り落とされたいようにへばりついて生きていくかわい生き物。

クワカタムシはクワカタの背中に乗ると死ぬ。他の昆虫の背中に乗せると死んでしまう。まさにクワカタムシと一心同体に進化している。このクワカタムシの背中から振り落とされたいようにへばりついて生きていくかわい生き物。

クワカタムシはクワカタの背中に乗ると死ぬ。他の昆虫の背中に乗せると死んでしまう。まさにクワカタムシと一心同体に進化している。このクワカタムシの背中から振り落とされたいようにへばりついて生きていくかわい生き物。

クワカタムシはクワカタの背中に乗ると死ぬ。他の昆虫の背中に乗せると死んでしまう。まさにクワカタムシと一心同体に進化している。このクワカタムシの背中から振り落とされたいようにへばりついて生きていくかわい生き物。

クワカタムシはクワカタの背中に乗ると死ぬ。他の昆虫の背中に乗せると死んでしまう。まさにクワカタムシと一心同体に進化している。このクワカタムシの背中から振り落とされたいようにへばりついて生きていくかわい生き物。

クワカタムシはクワカタの背中に乗ると死ぬ。他の昆虫の背中に乗せると死んでしまう。まさにクワカタムシと一心同体に進化している。このクワカタムシの背中から振り落とされたいようにへばりついて生きていくかわい生き物。

クワカタムシはクワカタの背中に乗ると死ぬ。他の昆虫の背中に乗せると死んでしまう。まさにクワカタムシと一心同体に進化している。このクワカタムシの背中から振り落とされたいようにへばりついて生きていくかわい生き物。

クワカタムシはクワカタの背中に乗ると死ぬ。他の昆虫の背中に乗せると死んでしまう。まさにクワカタムシと一心同体に進化している。このクワカタムシの背中から振り落とされたいようにへばりついて生きていくかわい生き物。

環境問題は三位一体

環境問題は三位一体。生態系、環境、人間が三位一体でつながっている。生態系が環境を形成し、環境が人間に影響を及ぼす。人間が生態系に影響を及ぼす。この三位一体が崩れると、地球は壊滅する。

環境問題は三位一体。生態系、環境、人間が三位一体でつながっている。生態系が環境を形成し、環境が人間に影響を及ぼす。人間が生態系に影響を及ぼす。この三位一体が崩れると、地球は壊滅する。

環境問題は三位一体。生態系、環境、人間が三位一体でつながっている。生態系が環境を形成し、環境が人間に影響を及ぼす。人間が生態系に影響を及ぼす。この三位一体が崩れると、地球は壊滅する。

環境問題は三位一体。生態系、環境、人間が三位一体でつながっている。生態系が環境を形成し、環境が人間に影響を及ぼす。人間が生態系に影響を及ぼす。この三位一体が崩れると、地球は壊滅する。

環境問題は三位一体。生態系、環境、人間が三位一体でつながっている。生態系が環境を形成し、環境が人間に影響を及ぼす。人間が生態系に影響を及ぼす。この三位一体が崩れると、地球は壊滅する。

環境問題は三位一体。生態系、環境、人間が三位一体でつながっている。生態系が環境を形成し、環境が人間に影響を及ぼす。人間が生態系に影響を及ぼす。この三位一体が崩れると、地球は壊滅する。

環境問題は三位一体。生態系、環境、人間が三位一体でつながっている。生態系が環境を形成し、環境が人間に影響を及ぼす。人間が生態系に影響を及ぼす。この三位一体が崩れると、地球は壊滅する。

環境問題は三位一体。生態系、環境、人間が三位一体でつながっている。生態系が環境を形成し、環境が人間に影響を及ぼす。人間が生態系に影響を及ぼす。この三位一体が崩れると、地球は壊滅する。

環境問題は三位一体。生態系、環境、人間が三位一体でつながっている。生態系が環境を形成し、環境が人間に影響を及ぼす。人間が生態系に影響を及ぼす。この三位一体が崩れると、地球は壊滅する。

まっけて起っているのが、地球温暖化。
 このような形で地球温暖化、廃棄物、生物多様性の劣化という地球上の大きな環境問題3つは三位一体。人間という存在が大量消費・大量廃棄する行為が根源になっている。しかも、これだけ密になって増え、しまった生き物は自然界において格好の獲物でもあらず。密になった生き物には必ず天敵が出てくる。

自然共生社会をつくるには

こういう状況を脱するためにも、私たちは生き方や社会を変えていく必要がある。

どうするべきか。生物多様性の破壊は一刻も早く減速させないといけない。これ以上、生物多様性の破壊を続けられれば、ウイルスの襲来を避けられない。自然共生社会をつくるために何をやっていくかを考えていかなければならない。

冒頭に言った生物多様性を守っていくということ、人間社会持続のための安全保障だということ、理解する必要がある。

今後の人と自然の共生のあり方は何か。アニメ映画『もののけ姫』(宮崎駿監督)は、動物社会と人間社会の戦争を描いた作品。ラストシーンで野生児サンは、人間社会のアシタカに「アシタカのこと好きだ。でも、人間を許すことはできない」。人間は自然を

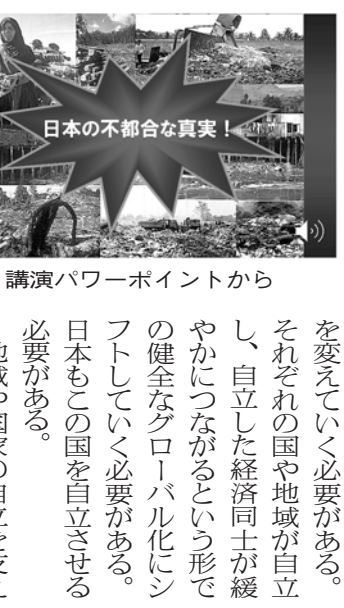
その天敵が新興感染症ウイルス。自然界から、こんなに増えた人間なら食わなければ損だと、ウイルスたちが下から人間社会にどんどんやってきて新興感染症を起している。新型コロナウィルスもその一つ。
 今回のように人間がウイルスに襲われるというのは自然の摂理。人間自身が好き勝手にやってきたことの自業自得として起こっている。

日本の不都合な真実

いま日本社会は大きな危機を迎えている。もちろん、新興感染症。しかし、これだけではない。気候危機。野生動物の襲来。いつ来るかわからない大地震。そして、海外資源の枯渇。激変する海外情勢。自然のみならず、社会・経済で大きな危機を迎えていること。今直ぐ社会を変容させないと日本を持続させることはできない。

まずグローバルゼーション。日本をはじめ、全世界が一緒に考えていかなければならない。サプライチェーンのベクトルを見ると、中国・アメリカ・ヨーロッパに大きな経済的つながりがあった。世界中が経済の流れの中でつながって生きていた。大きな問題が起きた

シオンに回帰し、持続的社會へと変容させていく必要がある。その中で、私たち一人一人ができることは何か。地産地消。地域で作り、地域で回していく。そういう生活スタイルを我々は取る必要がある。



講演パワーポイントから

地域や国家の自立を支える競争力は何か。人的資源

としての多様性・個性、環境資源・地域資源としての環境・文化の固有性。地域固有性そのものが資源として競争力の源になる。ゼーションポイント、らしさならではを創出することができるといえる。

どういった意味で日本の固有性を生かしていった循環型社会に向かう必要があるか。日本の場合、過去に学ぶことができる。日本は縄文時代に1万年以上にわたって、自然循環型社会・自然共生社会を維持してきた。狩猟採集を中心とする生活を維持していたが、文明文化が発達してなかったわけではなかった。縄文式土器という複雑な文様を持つ土器は中国の土器より古い時代から作られた。文化文明を発達させながら、自然と共に生きる道を1000世紀歩んできた。1000世紀の間「幸せ」でそれ以上を望まなかったと類推される。幸せの源を知ることは、これからの自然・行政・社会を築く上で大きなヒントになる可能性がある。

時代が進んで、江戸時代に鎖国という形をとって、世界で一番発展した経済と都市を作り上げていた。なぜそこまで発展することができたのか。鎖国といっても、完全に閉じていたわけではなく、長崎出島に對外外交をしばって外交能力によって「出惜しみ」といって「取り」をすることに

この国はかつて自然共生型国家だったのが、海外から資源を搾取する資源依存国家と化してしまった。最大のパラサイトとして自然を世界各地から搾取する。結果、世界全体の生物多様性が劣化し、ますます経済格差が広まってしまっている。これを繰り返して自然共生な真実であることを我々は知らないといけない。

私たちがやらなければならないことは、第一次産業を中心とした自然循環型社会を取り戻す。農業林業水産業を取り戻す。農業林業水産業に若い力を結集して、第一次産業を中心とした地域社会をつくる必要がある。問題は今更若い人たちが農業林業水産業をできるのか。生活が安定しない、作業がつかないということから、産業が衰退している。革新的技術が必要になる。実はすでに発達している、ICTを活用したスマート農業として座敷にいなながら農業することができるといえる。そう、先端技術を活用して地域に若い人を呼び寄せる政策として進めていく必要がある。

そして、地域に住む上でネックになってきたのが不便さと退屈さ。つまり地域格差。これがネックになっていた。これもIT技術を活用すれば、解消される。遠隔医療も、自動運転も可能となり、バーチャルリアリティでいろんな体験ができる。地域にいなながら、情報・サービス・医療などの充実を図ることができる。

社会のあり方を 見つめ直す機会に

地域に住むこと自体が不便ではなく、非常に充実した生活ができる時代に入ってきている。

エネルギーも同じで地域ごとに生産して地域ごとに消費する。地産地消型エネルギー再生システムを作れば、大きな施設を必要とせずに十分エネルギーを供給できる。地域の環境に合わせて再生エネルギーシステムを開発していけば、自然を損なうことなく、エネルギーを生産できると期待できる。

自立的な経済社会を地域で発展させるために必須になってくるのは、災害に強い国家・地域社会をつくること。この国は大きな自然災害が来る国。総合的に災害対策を立てる組織を作っていく必要がある。

喫緊の課題として新興感染症の問題。これからは様々なウイルス・病原体がやってくる。対策を立てる必要がある。人畜共通感染症センターのようなものを設置して、野生動物の管理という観点からウイルスのリスクを管理することが求められる。環境省も来年度

概要要求に新興感染症対策強化を盛り込んでいる。そういったことで災害に強い自立型地方分散社会というのは、今の技術をもってすればいろんなことで可能になっていく。そうやって日本自身が自立した経済国家になることで国際的リーダーシップを取ることができるといえる。

世界全体が自立的な新しいグローバル化を迎えることができるだろうと期待される。

実は私の動画を見た小泉環境相から電話があり、こういう日本社会を作ろうというところで、7月、8月には各界著名人に集まってもらって、今後の日本のあり方について大臣を囲んでオンラインで議論が行われた(「五箇勉強会」)。議事概要及び最後のメッセージは環境省ホームページに出ています。

新型コロナを日本の社会、世界のあり方を見つめ直すいい機会にしていかなければならない。

最後に人間の血を吸うマダニにも天敵があり、カニムシがマダニを食べてくれるということが我々の研究で分かった。カニムシをコロナ退散のアマヒエに見立てたCGで講演を終わりたいと思います。

参考文献・五箇公一『これからの時代を生き抜くための生物学入門』(辰日出版) 国立環境研究所 生物・生態系環境研究センター 生態リスク評価・対策研究室長

環境省も来年度

シンポジウム「コロナ時代」を生き抜くために

「コロナ災害」に立ち向かう——緊急支援の現場から

瀬戸 大作 反貧困 ネットワーク

路上からのSOS

この会場に来てからもSOSの電話があつて、対応をしていました。新型コロナ拡大以降、路上からのSOSが多い。SOSがあつたら大体2時間後には現地に行く。昨日夜は狹窄。最近上野周辺が多い。「所持金が100円しかない」とかの状態になっている困窮者に対して、支援を行うという活動を半年やっていて、休んでない。

月16日から緊急ささえあい基金を動かしていた。そこから、具体的な給付活動を行っている。現在までに全国の市民から9300万円の寄金が寄せられ、3400万円を給付金として出している。



支援活動の流れとして、相談フォームを作っていて、そこに相談が来る。なぜかという、相談者の半数は携帯が止まっている。今対応中の人も携帯電話が止まっている。そういう人たちは通信手段がない。よく労働団体が電話相談をやっているが、そこにもつながらない状態。

困窮者が「所持金が100円」「携帯が止まっている」という時に、ネット上に相談フォームを作って、そこで相談を受けている。今日は僕の代わりに府中派遣村メンバーがこれから相談者のところに向かう。相談者の待つ場所に行くアウトリーチ型支援。そこでアセスメントを行う。単に生活費・緊急宿泊費を渡すということではなく、数日

後に生活保護申請に同行したりとかの作業に入る。緊急給付金で当面の宿泊支援と生活費を渡す。申請同行して、ビジネスホテルで一泊泊してもらいながら、アパート転宅に向けた「居宅支援」に取り組む。アパート探し、緊急連絡先受託、家具などを一緒に見積もりをして、福祉事務所

に居宅での生活保護の決定を促す。引越作業までやる。そのことをこの間ずっとやってきた。いまま多くの自治体は生活保護を受理する条件として、「施設に入れ」「無料低額宿泊所に入れ」と強制する。僕ら支援団体はそのことに同意しません。相談者の多くは生活保護の経験がありません。生活保護の施設の中から、変な言い方が「逃げて出す」「失踪」。なぜ

後生活保護申請に同行したりとかの作業に入ります。緊急給付金で当面の宿泊支援と生活費を渡す。申請同行して、ビジネスホテルで一泊泊してもらいながら、アパート転宅に向けた「居宅支援」に取り組む。アパート探し、緊急連絡先受託、家具などを一緒に見積もりをして、福祉事務所

に居宅での生活保護の決定を促す。引越作業までやる。そのことをこの間ずっとやってきた。いまま多くの自治体は生活保護を受理する条件として、「施設に入れ」「無料低額宿泊所に入れ」と強制する。僕ら支援団体はそのことに同意しません。相談者の多くは生活保護の経験がありません。生活保護の施設の中から、変な言い方が「逃げて出す」「失踪」。なぜ

の名刺の裏側が原発被害者の支援団体の名刺で、その話をしたら盛り上がった。彼は2年前に日野市の自動車関連会社が倒産、失業して、2年間ネカフェ(ネットカフェ)で暮らし、登録データによると、ネカフェで生活している人の平均収入は月収11万4000円(不安定就労者平均12万円)。アパートを借りるとすると、生活保護の範囲内でも、大体初期費用が25万円

先ほどの路上からのSOSの大半はそういう構造。もう一つは、若い世代の中で家庭環境が厳しい。僕らが生活保護申請同行をしても、親からの虐待とかがあつて扶養照会してほしくない。要するに以前は日本社会では家族が一定のセーフティーネットの役割を果たしてきたが、それ自身が機能してない。

先ほど話したように、ホームレスについては無料低額宿泊所の入所が条件ということが横行している。今一人で生活保護申請に行くのと、いい自治体でも施設に入れられてしまう。これは上尾の事例で昨日アパート入居が決まった。群馬の派遣で仕事をしていて、仕事を失った。寮から追い出された。彼は上尾市役所に一人で生活保護申請に行った。無料低額宿泊所(無低)入所が前提です。

先ほどの路上からのSOSの大半はそういう構造。もう一つは、若い世代の中で家庭環境が厳しい。僕らが生活保護申請同行をしても、親からの虐待とかがあつて扶養照会してほしくない。要するに以前は日本社会では家族が一定のセーフティーネットの役割を果たしてきたが、それ自身が機能してない。

先ほどの路上からのSOSの大半はそういう構造。もう一つは、若い世代の中で家庭環境が厳しい。僕らが生活保護申請同行をしても、親からの虐待とかがあつて扶養照会してほしくない。要するに以前は日本社会では家族が一定のセーフティーネットの役割を果たしてきたが、それ自身が機能してない。

20代の住居喪失者

住居喪失者のデータを見ると、コロナ前の17年東京都調査で都内4000人。30代が38.6%。20代12.3%。08〜09年越え派遣村の時、20代はほとんどいなくて、圧倒的に多かった

のは中高年。今は20代、20代前半の人たちが非常に多い。コロナが大きな変化を起している。昨日会った青年は、初めてのパートナーで、反原発官邸前抗議に来ていた人。僕

の大半はそういう構造。もう一つは、若い世代の中で家庭環境が厳しい。僕らが生活保護申請同行をしても、親からの虐待とかがあつて扶養照会してほしくない。要するに以前は日本社会では家族が一定のセーフティーネットの役割を果たしてきたが、それ自身が機能してない。

先ほどの路上からのSOSの大半はそういう構造。もう一つは、若い世代の中で家庭環境が厳しい。僕らが生活保護申請同行をしても、親からの虐待とかがあつて扶養照会してほしくない。要するに以前は日本社会では家族が一定のセーフティーネットの役割を果たしてきたが、それ自身が機能してない。

先ほどの路上からのSOSの大半はそういう構造。もう一つは、若い世代の中で家庭環境が厳しい。僕らが生活保護申請同行をしても、親からの虐待とかがあつて扶養照会してほしくない。要するに以前は日本社会では家族が一定のセーフティーネットの役割を果たしてきたが、それ自身が機能してない。

先ほどの路上からのSOSの大半はそういう構造。もう一つは、若い世代の中で家庭環境が厳しい。僕らが生活保護申請同行をしても、親からの虐待とかがあつて扶養照会してほしくない。要するに以前は日本社会では家族が一定のセーフティーネットの役割を果たしてきたが、それ自身が機能してない。

先ほどの路上からのSOSの大半はそういう構造。もう一つは、若い世代の中で家庭環境が厳しい。僕らが生活保護申請同行をしても、親からの虐待とかがあつて扶養照会してほしくない。要するに以前は日本社会では家族が一定のセーフティーネットの役割を果たしてきたが、それ自身が機能してない。

直接申し入れ行動へ

これはお願ひばかりし居宅をするという条件で交渉している。そうしたら、先週から、彼をアパート入居させないと言いつつ、福祉事務所は3月か6月間ぐらい、お金の管理ができるか、コミュニケー

これはお願ひばかりし居宅をするという条件で交渉している。そうしたら、先週から、彼をアパート入居させないと言いつつ、福祉事務所は3月か6月間ぐらい、お金の管理ができるか、コミュニケー

これはお願ひばかりし居宅をするという条件で交渉している。そうしたら、先週から、彼をアパート入居させないと言いつつ、福祉事務所は3月か6月間ぐらい、お金の管理ができるか、コミュニケー

これはお願ひばかりし居宅をするという条件で交渉している。そうしたら、先週から、彼をアパート入居させないと言いつつ、福祉事務所は3月か6月間ぐらい、お金の管理ができるか、コミュニケー

これはお願ひばかりし居宅をするという条件で交渉している。そうしたら、先週から、彼をアパート入居させないと言いつつ、福祉事務所は3月か6月間ぐらい、お金の管理ができるか、コミュニケー

これはお願ひばかりし居宅をするという条件で交渉している。そうしたら、先週から、彼をアパート入居させないと言いつつ、福祉事務所は3月か6月間ぐらい、お金の管理ができるか、コミュニケー

これはお願ひばかりし居宅をするという条件で交渉している。そうしたら、先週から、彼をアパート入居させないと言いつつ、福祉事務所は3月か6月間ぐらい、お金の管理ができるか、コミュニケー

シヨンが取れるか、ゴミ出しができるか。その状況を見て判断すると言う。

もう一つは保護決定まで1日346円で生活しろという。生活保護利用の申請に対して、人権無視・人権侵害のような行為を福祉事務所が当たり前のように行っている。要するに、見下しているわけです。

先ほど、新型コロナの中でどれだけの被害にあったか、彼らがどのような背景の中で路上に出してしまうようになったのか。2002年の竹中構造改革の中で派遣が一般化され、そういう労働構造が固定化されたという問題。明らかに彼らは被害者だと思ふ。そういう彼らに対して、福祉事務所が見下すような行為を行なっている。非常に問題がある。

社会運動は行政の下請けではない

もう一つは、この間気になつてくるのはフードバンクとか子ども食堂の運動が社会運動として取り組まれてきている。僕は嘩然とする。どこに行っても、お金に困窮しているのに福祉事務所がお金

最近、もう一つ問題があった。足立区で日本国籍のガーナの若者が同じように仕事がなく、公園

はほとんど貸し付けをしな



増加する「女性専用」住人... 少ない収入 親も頼れず

た路上に戻る。来週にこの問題で、なんで勝手に廃止をしたんだと、足立区に対する抗議の要請行動になる。

こういう事が頻発している。僕は緊急対応以外にも、やっぱり直接行動をやらな

あるのかということにポイントがある。ヨーロッパ、アメリカの視線で言うと、アパート転宅してゆつくりと

いある。生活困窮者の就労支援は多くの自治体で派遣

なぜ、厚労省や国土交通省がもつと動かないのか。民間の空き家も、公営住宅も

保給付金は普遍的な家賃補助制度へ。そして、路上にいる人たちに対して、緊急シェルターを準備すべきだ。

この件では、2017年倉橋議員(共産党)が国の無料低額診療の医療費拡充を求めるといふ質問をして

そうした時に、僕らの民間の活動が政府・福祉行政の下請けになつてい

なぜその就労の前に住まないのか。自立支援には

池袋で性風俗で働かざるを得なくて働いた女性から聞いた話だが、ある性風俗店の店長が従業員名簿を闇金

もう一つ重要な事項が外国人。緊急ささえあい基金

僕らが今ピッチを上げてささえあい給付金を手渡す

急遽11月1日に外国人テント村相談会をキュボ・ラ

住居確保の制度を

追及しているけれど、追及される側も含めて福祉の現場が、追い込まれている

そして、入居者の権利を守るために追い出し行為を禁止する新たな条例、「公的保証制度」が必要

9月に子どもが生まれる予定の外国人家族が家賃滞り強制退去されそうだと

公助をしつかり行え

(7面から続く)

実は明日、協同組合のシンポジウムがあって同じような話をする。反貧困ネットワークとして立ち上げた経緯があるが、事業化しなければいけない段階にきている。定款も含めて事業協同組合的なものにしていくという提案をしている。とにかく、事業を立ち上げて動かしいかないといけない。緊急給付を継続的の事業としてつくる。そして、とにかくシュルターが足りない。

い。いま家出少女への対応をいくつもしているが、彼女たちが施設やグループホームに行くのと携帯を取り上げられてしまう。そういうことに対応できるシュルター、居住支援とかを既にやっている団体から学んでつづいていく。

「自助共助・公助」となっているが、「自助」「自己責任」に対して、公助をしつかり行えということはどうやって運動化するのか。この間、多くのお米支援を受けている。東北の有機農家などからの支援が入っている。非常に感謝される。外国人たちはいろんな味付けをしてお米を大切に使う。今後この問題は貧困問題という面だけではなく、いろんな人たちとつながっていかないとダメ。支えが必要だ。グローバリストの政治家たちが追い詰められた人たちが追い詰められる。さらに追いつめられる。

「自助共助・公助」となっているが、「自助」「自己責任」に対して、公助をしつかり行えということはどうやって運動化するのか。この間、多くのお米支援を受けている。東北の有機農家などからの支援が入っている。非常に感謝される。外国人たちはいろんな味付けをしてお米を大切に使う。今後この問題は貧困問題という面だけではなく、いろんな人たちとつながっていかないとダメ。支えが必要だ。グローバリストの政治家たちが追い詰められた人たちが追い詰められる。さらに追いつめられる。

学問の自由破壊する 学術会議任命拒否に抗議

菅政権は日本学術会議の会員任命で、学術会議の推薦名簿105人の内6人を理由も示さず、任命拒否した。直接選挙から制度変更された学術会議法改定案審議(83年)で、当時の中曽根政権は「政府の行為は形式的措置」と推薦名簿に基づ

菅政権は日本学術会議の会員任命で、学術会議の推薦名簿105人の内6人を理由も示さず、任命拒否した。直接選挙から制度変更された学術会議法改定案審議(83年)で、当時の中曽根政権は「政府の行為は形式的措置」と推薦名簿に基づ



いて任命すると答弁している。学問の自由を守るために首相の任命権は形式的となっており、首相に任命拒否権はない。しかも、政府はこの法律解釈を変更してないとしている。

学術会議法では会員210人で構成されることになっていて今回は105人を任命することが義務付けられ、任命拒否で欠員を出すことは違法だ。菅は「総合的、俯瞰的に判断」という法律的根拠のない主張を言っただけで、何の説明もせずに居直っている。

さらに政権・自民党、政権追従の御用マスコミは、問題を学術会議の行革問題にすり替え、学術会議へのパッシングを行っている。任命拒否された6人には、安保法制などに反対した学者がおり、政権に追従



映評 組織不正を守る社会 「オフィシャル・シークレット」

少し前の話になります。が、久しぶりに映画を鑑賞してきました。配給会社がツイッターでやってきたキャンペーンに当たり、タダで。映画は、キーラ・ナイトレイ主演の「オフィシャル・シークレット」。

どんな違憲違法行為も押し通すことができるという立憲主義、法治主義を完全に破壊する暴挙だ。学問の自由を破壊する学術会議任命拒否にして、官邸前抗議、多くの学会の声明など抗議が続いている。

どんな違憲違法行為も押し通すことができるという立憲主義、法治主義を完全に破壊する暴挙だ。学問の自由を破壊する学術会議任命拒否にして、官邸前抗議、多くの学会の声明など抗議が続いている。

COVID19の影響で、内容がイラクを侵攻するたが、国連安保理のメンバーの国々をスパイせよとの内容だった。キヤサリンは、そのメールに疑問を感じ、知人を通じて内容をマスコミにリ

「これまでの沖縄県関連の裁判は9件。来年10件目の埋め立て承認処分変更承認申請についての裁判が起されるかもしれない。最

め、国連安保理のメンバーの国々をスパイせよとの内容だった。キヤサリンは、そのメールに疑問を感じ、知人を通じて内容をマスコミにリ

「これまでの沖縄県関連の裁判は9件。来年10件目の埋め立て承認処分変更承認申請についての裁判が起されるかもしれない。最

日本という社会では、国家や組織と個人の力関係はもうないと思うのでDVDからネット配信で。

「組織に従うのは当たり前」というような考えを持つ者が多い。また、内部通報者への制裁が横行し、結局、守られるのは不正を行った組織であって内部通報者個人ではない。

10月14日、止めよう新基地建設! 辺野古裁判勝利! 門前払いは許さない! 10・14学習集会が都内で行われ、214人が参加した。

「これまでの沖縄県関連の裁判は9件。来年10件目の埋め立て承認処分変更承認申請についての裁判が起されるかもしれない。最

「組織に従うのは当たり前」というような考えを持つ者が多い。また、内部通報者への制裁が横行し、結局、守られるのは不正を行った組織であって内部通報者個人ではない。

完了に210年かかる計算になる。しかも、直ぐ埋め立てに着手することになっていた大浦湾側は軟弱地盤の存在が隠蔽され、実質ゼロ。世論と沖縄県の抵抗で、大浦湾の軟弱地盤調査もさせていない。

「組織に従うのは当たり前」というような考えを持つ者が多い。また、内部通報者への制裁が横行し、結局、守られるのは不正を行った組織であって内部通報者個人ではない。

辺野古裁判勝利! 門前払いは許さない

谷島